



こんなことあったよ! のしろ白神ネットワークの活動レポート

平成 21 年 6 月 24 日(水)

染色講座開催 編

6 月 24 日、7 月 15 日の 2 回染色講座が行われました。今回は昨年に引き続き、すみれ会のテーマである杉を利用した「杉の葉染め」です。それもすみれ会の色である「ピンクに染めたい!」に挑戦です。昨年の講座では黄色やグレーにしか染まりませんでしたからピンクに、というのはかなり難しいのです。3 月頃からネットの情報を参考に、秋元先生に相談しながら実験をくり返してデータを集めました。ピンクまでは至りませんでした…。本番の今日こそピンクに染まりますように!

今回は綿の T シャツ、ハンカチ、綿の布を染めます。まずは各自 T シャツに輪ゴムで絞りを作り(これがまた楽しい!) 水に浸しておきます。

①染液づくり(これは前日に作っています) 常盤ときめき隊の小林さんが常盤の杉、それも葉先ばかりを提供して下さいました。このフレッシュな杉を 5 cm くらいにカットして鍋一杯に入れ、ひたひたの水で 30 分煮出します。油がでるのでこの液は捨てます。水をまた入れて今度は 2 時間煮出して漉します(一番液)。同じ作業で(二番液)を煮出して合わせて完成。

②染液につける(10 分~15 分) 染液を温めながらムラが出ないように箸で布をゆらしします。杉の香りが部屋中にひろがります。

③媒染液に浸す これも小林さんが杉の葉を焼いて作ってくれた灰を利用した灰液の上澄みを使います。濃度と浸す時間の加減が一番難しいため、2 つの濃度の違う液を用意して色の出方や時間をみます。だんだんと色が変化していきます。どうでしょうか?

④熱湯につける これが最後の作業です。熱湯に浸すことで色が決まるのです。入れたらすぐに、さあっと色が冴えてきました。な、なんとピンクが出たのです! やったー! 味わいのあるいい色。みんな大喜びです!

⑤水洗いしてかわかす 輪ゴムをはずすと絞りの模様がはっきりと出てます。世界にひとつだけの T シャツの完成です。綿の種類で色の出方は違いますが、どれもピンクに染まり大成功でした!

…ということで、2 回目の講座では会員全員の T シャツを染めました。これを 8 月 6 日の「まち灯り・夏」ですみれ会で着る予定です。ピンクに染めた布では巾着や針刺しを作って、試みに販売します。

常盤ときめき隊小林さん、秋元先生のご協力でここまでできました。特に、秋元先生は布をたくさん提供して下さいました。自立して染色できるようにレシピを作して下さいました。

先生と、これからは年間の計画を立てて、染色→それを活用したオリジナル作品の作成→販売を目標にしようねと話しています。こんなふうにしすみれ会を応援してくれる方々がいることを本当にうれしく思います。なにより染色の楽しさ、杉の色の味わいを教えてもらいました。みなさんにも楽しんでもらいたいですね。

文: 平山 はるみ



すみれ会の強力な協力者、秋元先生(左)と常盤ときめき隊の小林さん(右)。



緑の杉の葉からは想像できない染液の色ですが、どんな色、どんな模様になるのかワクワクします。



すみれ会オリジナル、ピンク色の世界にひとつだけの T シャツの完成です!



染めあがった T シャツ等を干しながらお話をいただきました。次への構想が膨らんでいきます。